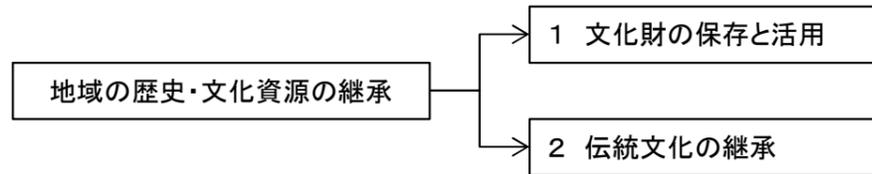


## 施策5 地域の歴史・文化資源の継承



### 基本事業1 文化財の保存と活用

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H30実績	R1実績	R2目標	
5-1 文化財の保存と活用	①文化財 ②市民	①適切に保存・継承される。 ②地域の歴史を知り、郷土への愛着を育む。	①国、県、市の指定文化財の件数 ②博物館登録資料件数 ③博物館受入資料件数(累計) ④博物館入館者数	①件 ②件 ③件 ④人	①87 ②6,363 ③3,350 ④7,657	①87 ②6,363 ③3,381 ④7,378	①87 ②6,400 ③3,388 ④9,500	A 有形・無形の文化財の保存は適切に行われている。また、市民の文化財に対する認知度を高めるため、博物館内における企画展示・特別陳列を実施するとともに、関係機関・団体等の支援と連携を図りながら、文化財めぐりをはじめ、考古資料関係展示、土偶づくりなどの体験学習会を実施している。



事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				項目	単位	H30実績	R1実績	R2目標		
5-1-1 文化財調査研究事業	埋蔵文化財	・埋蔵文化財を記録保存する。 ・調査報告書を作成し、調査結果を公開する。	開発行為に伴う長谷堂貝塚群発掘調査、発掘調査資料の整理、開発行為に伴う事前調査	①発掘調査による出土遺物量 ②発掘調査報告書を刊行した遺跡数	①箱 ②遺跡	①0 ②0	①1 ②0	①100 ②1	A 発掘調査の可能性の有無など、事前情報の把握に努めながら、他の文化財事業と並行して適切に事業を実施し、埋蔵文化財の保存が図られている。	○ 震災復興関連の開発行為に伴う埋蔵文化財発掘調査と並行し、埋蔵文化財発掘調査が計画的に行われているが、将来にわたる安定的調査体制の整備が必要である。
5-1-2 博物館展示事業	市民、碁石海岸を訪れる観光客	展示事業を通して、気仙地域の自然と文化について学ぶことができる。	常設展示の公開、館内説明の実施、展示資料及び展示設備の維持管理、常設展示資料の追加・更新、特別陳列の実施	①博物館入館者数	①人	①7,657	①7,378	①9,500	A より質の高い展示を企画するため、博物館資料を収集・蓄積しながら、常設展示の公開、特別陳列、展示資料及び展示設備の維持管理を図っている。	○ 必要な事業を安定的に実施しており、引き続き、文化財を適切に保護していくとともに、資料の公開方法や展示資料等に工夫を凝らしながら、文化財の活用を図っていく必要がある。

基本事業2 伝統文化の継承

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H30実績	R1実績	R2目標	
5-2 伝統文化の継承	伝統芸能継承団体	後継者を育成し、伝統文化を継承する。	①大船渡市郷土芸能協会加盟団体数 ②「郷土芸能や地域の祭などが盛んである」と答えた市民の割合(市民意識調査)	①団体 ②%	①30 ②47.2	①30 ②47.9	①32 ②60.0	B 少子高齢化や人口減少の進行などの社会情勢等の影響により、人材や後継者不足などが言われている中、関係者の熱意と努力により、郷土芸能をはじめとする伝統文化は次世代に継承されているが、「郷土芸能や地域の祭などが盛んである」と答えた市民の割合は微増ではあるものの5割を満たさない状況にある。 平成30年11月、国指定重要無形文化財「吉浜のスネカ」を含む、「来訪神行事:仮面・仮装の神々」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことに伴い、世界に誇れる地域行事の魅力を広く発信するとともに、保存会の意向を踏まえながら、保存・継承に向けた取組を進めている。



事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				項目	単位	H30実績	R1実績	R2目標		
5-2-1 文化財保護管理事業	指定文化財、埋蔵文化財	文化財が現状維持される。	文化財公有地等の刈払い、国特別天然記念物ニホンカモシカの保護及び滅失処理、天然記念物銘木樹勢回復、民俗芸能の育成支援、開発行為に係る埋蔵文化財の保護指導など	①滅失せず現状が維持された指定文化財数 ②郷土芸能協会加盟団体出演回数	①件 ②回	①87 ②55	①87 ②36	①87 ②50	A 文化財の保護・管理は概ね適切に行われている。  ● 文化財の保護・管理は概ね適切に行われているが、長期的視点に立って、安定的に文化財保護行政を執行するための体制整備や市指定文化財の指定基準、手順等を明確にする必要がある。	
5-2-2 こども郷土芸能まつり開催支援事業	こども郷土芸能まつり実行委員会	円滑に事業を運営してもらう。	こども郷土芸能まつりの開催(隔年開催)	市補助金額	円	516	—	500	B 後継者育成を目的として事業を実施しているが、まつりに対する出演者や来場者の満足度は高いものの、出演団体や来場者が減少傾向にある。  ● こども郷土芸能まつりのあり方や郷土芸能の伝承、後継者育成、当該事業の運営主体の検討など、関係団体等と協議が必要である。	

□総括

施策名	対象	意図	成果指標				進捗度とその理由等			
			項目	単位	H30実績	R1実績		R2目標		
5 地域の歴史・文化資源の継承	市民	郷土の伝統や文化を知り、郷土に誇りと愛着を持つ。	「郷土の伝統文化や文化財を大切にしたい」と答えた市民の割合(市民意識調査)	%	76.3	73.2	80.0	<p>A</p> <p>震災復興に関連した開発行為に伴う埋蔵文化財発掘調査が急増し、多量の埋蔵文化財が出土したが、専門職員が中心となって、通常の発掘調査や整理作業と並行して業務を適正に行っており、当市の埋蔵文化財の質・量とも充実が図られている。</p> <p>郷土芸能の伝承については、震災後、改めてその価値が見直されるとともに、三陸国際芸術祭の開催など、地域外の人々の参画や体験・他地域との交流が図られている。</p> <p>また、被災により装束等が流出するなどして、継続が危ぶまれた郷土芸能保存団体も多く見られたが、全国各地からの支援を受けて再生に取り組んだ結果、郷土の伝統文化の価値を再確認し、大切に保存・伝承しようという動きにも繋がった。</p> <p>地域の伝統行事については、吉浜のスネカがユネスコ無形文化遺産に登録され、世界的に注目を集めたことから、保存会の意向を踏まえつつ、その魅力を広く発信しながら、保存・継承に努めている。</p>		
			課題							
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化・人口減少が進行する社会情勢を踏まえた、伝統芸能の後継者確保対策の充実</li> <li>・文化財を活用した市の魅力発信や交流人口拡大のための取組みの拡充</li> </ul>							